

人類はどこへ向かうのか

— 好奇心と社会倫理 —

目覚ましい科学技術の発展のもと高度な文明社会が構築されてきました。一方、地球環境問題を端緒に「持続可能な社会」、「定常型社会」の実現がクローズアップされ、科学技術が社会とどのように共生していくかが問われています。そこで、総合研究大学院大学創立30周年記念シンポジウムとして、「人類はどこへ向かうのか」と題して、知的活動の根源である「好奇心」と地球的規模における自然を含めた倫理観（「社会倫理」）にスポットを当てた講演と、それらをもとにしたパネルディスカッションを行います。

平成30年 **11月3日 [土]** 09:30～開場・受付開始 / 10:00～10:10 主催者挨拶・趣旨説明

第1部 科学と技術の未来

- 10:10～11:00 **宇宙、物質の起源と人類** —ダークマターとダークエネルギーの果たす役割—
郡 和範 (素粒子原子核専攻/素粒子原子核研究所)
- 11:05～11:55 **南極の湖から原始地球の生態系を探る**
田邊 優貴子 (極域科学専攻/国立極地研究所)
- 13:00～13:50 **宇宙の植物は何色？**
滝澤 謙二 (自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター)
- 13:55～14:45 **超伝導で作る人工太陽** —地球の安全装置—
柳 長門 (核融合科学専攻/核融合科学研究所)
- 14:50～15:40 **太陽系天体探査への挑戦**
吉川 真 (宇宙科学専攻/宇宙科学研究所)
- 16:00～17:00 **パネルディスカッション**
川合 眞紀 (機能分子科学専攻/分子科学研究所)

平成30年 **11月4日 [日]** 09:30～開場・受付開始

第2部 人類社会の未来

- 10:00～10:50 **人工知能がもたらす人間と社会の未来**
新井 紀子 (情報学専攻/国立情報学研究所)
- 10:55～11:45 **脳科学と進化** —サピエンスからネアンデルタールまで—
定藤 規弘 (生理科学専攻/生理学研究所)
- 13:00～13:50 **人間文化のゆくえ**
ロバート・キャンベル (国文学研究資料館長)
- 13:55～14:45 **文明研究と地域社会との共生・共創**
關 雄二 (比較文化学専攻/国立民族学博物館)
- 14:50～15:40 **ポスト成長・人口減少社会のデザイン** —人間と社会の未来—
広井 良典 (京都大学 こころの未来研究センター)
- 16:00～17:00 **パネルディスカッション**
長谷川 眞理子 (総合研究大学院大学長)

シンポジウムは事前申込が必要です

定員 200名

お問い合わせ・申込

総合研究大学院大学 総合企画課広報社会連携係
E-mail event@ml.soken.ac.jp FAX.046-858-1648 TEL.046-858-1590



会場

東京大学駒場Iキャンパス 21KOMCEE East K011
アクセス：京王井の頭線 駒場東大前駅東大口よりすぐ